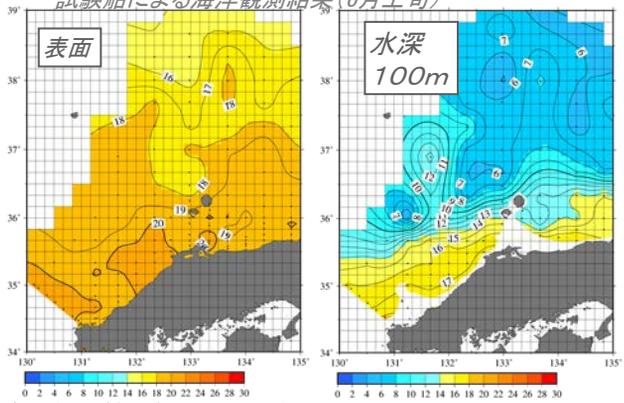
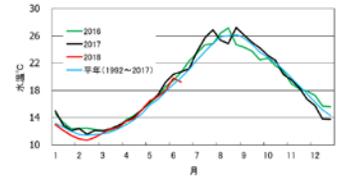




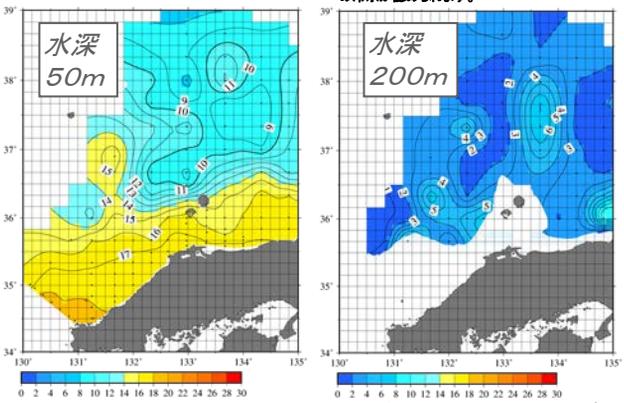
鳥取沿岸の水温

鳥取県栽培漁業センター 沈砂槽
(電話:0858-34-3321)

6月中旬 19.2℃
平年より 約0.7℃低め

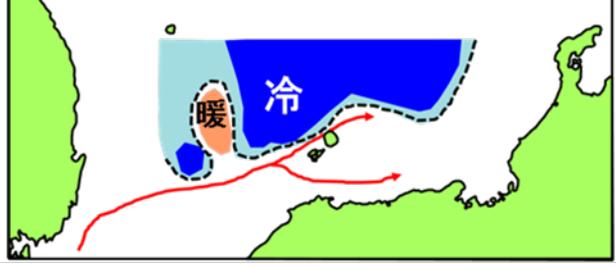


鳥取県沖と隠岐諸島周辺海域は19～20℃で、平年並みの値となっています。



鳥取県沖と隠岐諸島周辺海域は17～18℃を示し、平年並みの値となっています。

6月上旬の水塊配置と対馬暖流



- ・島根沖冷水 : 山口沖北緯35°40'に認められます。
- ・山陰 若狭沖冷水 : 鳥取沖北緯36°30'付近に認められます。
- ・沖合の対馬暖流 : 主流は島根沖を通り、隠岐諸島北西の冷水に沿うように流れていると推測されます。その後、隠岐諸島から分岐し、分流が鳥取県沿岸域を流れていると考えられます。

※県内の漁獲情報については水産試験場ホームページ(鳥取県水産試験場で検索してください)に詳しく掲載しています、是非ご利用ください。

★水産課からのお知らせ★

泊、浦富地区で定置網が完成しました！ 朝市も開催中！

鳥取県漁業協同組合泊支所で定置網が完成し、操業を開始しました！
県内では淀江、御来屋、夏泊、浦富地区に続いて5地区目になります。
6月19日(火)には第一回朝市が開催され、大盛況となりました！
同じく鳥取県漁業協同組合浦富支所では、昨年10月の台風21号により定置網が破損してしまいましたが、このたび新たな定置網の設置が完了し、6月9日(土)より朝市が再開され、こちらも活況となりました！
どちらの朝市も、定置網による新鮮な朝獲れ魚介類を販売しています。
この機会にぜひ、足を運んでみてはいかがでしょうか？

名称	場所	開催日時
泊朝市	鳥取県漁協泊支所 荷捌き所 (☎0858-34-2012)	毎週火曜日 10:00～ (当面の間)
浦富朝市	鳥取県漁協浦富支所 荷捌き所 (☎0857-72-0535)	毎週土曜日 9:30～ (8月11日まで)



水産試験場

美保湾のシラス漁調査を開始しました！

水産試験場では、本年4月より県西部に位置する美保湾においてシラス漁の調査を開始しました。主にカタクチイワシの仔稚魚からなるシラス(カエリも含む)は弓浜半島を代表する重要資源のひとつですが、これまでその実態をほとんど把握できていませんでした。このため、まずはカタクチイワシ(シラス、カエリ)の水揚量の年変動や美保湾における漁場、漁獲されたシラスの体長組成や日齢といった基礎的な情報を取りまとめ、資源動向を捉えていきたいと考えています。
現在、本調査は境港支所所属の船曳(2艘曳き、1艘曳き)、すくい網漁師の方々にご協力いただきながら進めております。今後とも何卒よろしくお願いたします。



弓浜半島の代表的食材であるカタクチイワシのシラス



弓ヶ浜水産の給餌基地へ水温計を設置させていただきました！



混獲される他のシラス(上:ウルメ、下:マイワシ)

平成30年4月から下記2社の広告を1年間掲載することになりました。

栽培漁業センター

アユ不漁対策に効果あり!?
早期小型種苗放流試験を実施中!



県内の河川ではH26年からアユの不漁状況が一段と厳しくなり、これまでにない不漁となっています。その原因として天然アユ資源の減少、河川環境の悪化、餌となる付着藻類の減少、カワウによる食害、疾病の影響等が考えられます。当センターではアユ漁の復活を目指し、これら不漁原因の対応策を見いだすための調査を実施中です。



放流作業の様子

現在は河川内での放流アユの定着性を高めるために、天神川水系三徳川にて、早期小型種苗放流試験を行っています。放流試験区ではアユ漁解禁後に友釣りで比較的よく釣れており、効果的な放流手法である可能性が見えてきました。



放流試験区で釣られたアユ

引き続き、県内河川への普及を目指して効果検証を行いますので、調査へのご協力をお願いします。

潮に夢を 共和水産株式会社
代表取締役 岩田 祐二
〒684-0006 鳥取県境港市栄町65番地
TEL:0859-44-7171(代) FAX 0859-42-6530

いつの時代も、技術とサービスをもって水産業・漁業の皆様を支援してまいります
西日本ニチモウ株式会社
本社 山口県下関市小月小島2丁目3-17 〒750-1136
電話 083-282-4041(代表) FAX 083-282-0424
境港営業所 鳥取県境港市栄町67番地 〒684-0006 電話 0859-44-0475 FAX 0859-42-6330